

電気通信大学 平成16年度シラバス

|         |  |          |       |
|---------|--|----------|-------|
| 授業科目名   | 選択韓国朝鮮語第二  |          |       |
| 英文授業科目名 |  |          |       |
| 開講年度    | 2004年度   | 開講年次     | 1年次   |
| 開講学期    | 2学期  | 開講コース・課程 | 昼間コース |
| 授業の方法   |  | 単位数      | 1     |
| 科目区分    | 総合文化科目-言語文化科目-言語文化応用科目ⅠⅠ   |          |       |
| 開講学科・専攻 | 情報通信工学科<br>情報工学科<br>電子工学科<br>量子・物質工学科<br>知能機械工学科<br>システム工学科<br>人間コミュニケーション学科 |          |       |
| 担当教官名   | 廉 東浩(学内連絡教官 湯川 敬弘)   |          |       |
| 居室      |  |          |       |

|                    |            |
|--------------------|------------|
| 公開E-Mail           | 授業関連Webページ |
| dhyeom21@ybb.ne.jp |            |

|   |
|---|
| <b>【主題および達成目標】</b>                                    |
| 主題：韓国語での自己紹介<br>達成目標：豊富な表現を使って自己紹介ができ、チャットができることを目指す。 |

|                         |
|-------------------------|
| <b>【前もって履修しておくべき科目】</b> |
| 選択韓国朝鮮語第一               |

|                              |
|------------------------------|
| <b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b> |
| 選択韓国朝鮮語第一                    |

|  |
|--|
| <b>【教科書等】</b>                                      |
| 改定版<br>『韓国語レッスン』初級?<br>金 東漢・張 銀英 共著<br>スリーエーネットワーク |

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

基本表現に加え、より多様な表現を学習する。  
自分の力で教科書を読み、表現したい文章を韓国語で表現できるように力をつける。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

- (a) 評価方法：  
中間試験・期末試験および演習・宿題の結果を、次のように総合評価する。  
成績評価 平常点（出席率など）： 40%  
                  期末試験      ： 40%  
                  課題など      ： 20%
- (b) 評価基準：以下の到達レベルをもって最低達成基準とする。  
1．出席率が60%以上であり、自己紹介ができること。

### 【オフィスアワー：授業相談】

月曜日と火曜日は授業の間。  
それ以外の曜日は電子メールで受け付ける。

### 【学生へのメッセージ】

韓国朝鮮語第二よりさらに進んだ表現の学習をめざします。これから韓国人にあう機会もますます増えるでしょう。韓国人にあったら韓国語で自己紹介ができるようにしましょう。休まず、まじめに講義に出れば豊富な表現を使い、自己紹介ができるようになります。

### 【その他】